

番外編

iDeCoってなに？



◆番外編：iDeCoってなに？

iDeCo（個人型確定拠出年金）

NISAと似た制度にiDeCo（イデコ）という制度があるよ！

個人型・確定拠出年金
老後のための資産形成が目的の制度だよ
（だから「年金」なんだね！）



◆番外編：iDeCoってなに？

NISAとiDeCoの共通点・相違点

主なポイントは2つ

		NISA	iDeCo
税金	積立時	—	全額所得控除
	売却時	利益は非課税	
	受取時	—	退職所得控除・ 公的年金等の控除
引出		いつでも可能	60歳まで引出不可
手数料		運用コストのみ	運用コストの他に 口座管理手数料がかかる



◆番外編：iDeCoってなに？

全額所得控除

積み立てた金額が「全額所得から控除」されて
所得税・住民税が減ります！

所得税は課税所得に対して税率が掛け算されるので
課税所得が減ると、税金が減ります。



◆番外編：iDeCoってなに？

全額所得控除

課税所得500万円×税率よりも
500万円－ $\frac{(10,000円 \times 12ヵ月)}{\text{iDeCoの掛け金}}$ = 488万円に税率をかけた方が

税金が安くなります！

これがNISAにないiDeCoの最大の魅力です！



◆番外編：iDeCoってなに？

節税シミュレーション



公務員

A子さんの場合

年齢	>	35歳
年収	>	500万円
毎月掛金	>	1万2,000円
全額年間所得控除	>	14.4万円

節税効果

1年で	2万8,800円
25年で	72万円



会社員

B男さんの場合

年齢	>	27歳
年収	>	650万円
毎月掛金	>	2万3,000円
全額年間所得控除	>	27.6万円

節税効果

1年で	8万2,800円
33年で	273万2,400円



自営業

C太さんの場合

年齢	>	43歳
年収	>	800万円
毎月掛金	>	6万8,000円
全額年間所得控除	>	81.6万円

節税効果

1年で	26万9,280円
17年で	457万7,760円

※自営業の方は所得控除額が人によって大きく異なるので各種所得控除を考慮せず、年収を課税所得として試算しています。

※自営業以外の方は収入に応じた給与所得控除、基礎控除、社会保険料控除（年収の15%として計算）を考慮して試算しています。

※復興特別所得税は考慮していません。



▲楽天証券 iDeCo節税シミュレーション



◆番外編：iDeCoってなに？

iDeCoのデメリット

iDeCoは全額所得控除になるので、税金対策にはもってこい！

だけど、

60歳まで引き出しできないのが子育て世代には辛いところ...

教育費やら住宅資金やら、

ライフイベントがこれから多い・・・

これは絶対老後のため！と決めた金額はiDeCoでもいいかも！

NISAが優先かな、と思います！

